

研究機関：広島大学

研究課題名	全身麻酔下に行った血管内治療の周術期管理の比較検討
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科麻酔蘇生学 教授 河本昌志
研究期間	2018年12月14日(倫理委員会承認後)～2022年4月1日
対象者	2015年4月から2020年4月の間に、広島大学病院手術部で全身麻酔下にステントグラフト内挿術および経カテーテル的大動脈弁留置術の血管内治療を受けた患者および同目的の手術を非血管内治療で受けた患者さん。
意義・目的	ステントグラフト内挿術や径カテーテル的大動脈弁留置術は、これまでの開腹や開胸を伴う高侵襲の手術手技と比較して低侵襲な手術手技として普及してきました。低侵襲化により入院期間が短くなり周術期の死亡率も低下するなど様々なメリットが報告されています。一方で、術後に造影剤を用いた検査を要するため長期的に腎機能が低下するなど、デメリットも報告されています。周術期の合併症の発生状況などを詳細に調査し、低侵襲手術がもたらす得失については検討する必要があります。本研究は、血管内治療を受けた患者群と非血管内手術を受けた患者群と比較することで、周術期の管理や合併症の発生状況について検討することを目的とした研究です。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査(手術の前後に必要な応じて行われている検査の検査値)、手術時間、術後の入院期間です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 麻酔蘇生学 教授 河本 昌志
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。(モニタリング有の場合)ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 助教 三好寛二